

'20
33rd.

第33回
福岡県
美しいまちづくり
建築賞
作品集

public competition 2020 fukuoka prefecture 33rd. / architectural award for artistic urban design

ご挨拶

福岡県知事 ■ 小川洋

本県では、「県民幸福度日本一」に向けた取り組みをさらに加速させるため、「福岡県総合計画」を策定しています。総合的に展開する施策を体系づける柱の一つとして、「環境と調和し、快適に暮らせること」を掲げ、景観形成に資する建築物の表彰などによって県民意識の醸成を図り、良好な居住環境づくりを促進することとしています。

その取り組みとして、「個性豊かで、美しく、誇りを持って次の世代に継承することができる景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物」に対し表彰を行う「福岡県美しいまちづくり建築賞」を創設し、今回で33回目を迎えます。

ご応募いただいた72の作品の中から、幅広い分野の学識経験者等で構成された選考委員会による厳正な審査を経て、特に優れた5作品を表彰することといたしました。

大賞に選ばれた住宅の部「浦志の家」、一般建築の部「嘉麻市庁舎」をはじめ、いずれの作品も建築物としての素晴らしさだけでなく、建築物の外部空間を含めた景観によって、良好な居住環境づくりに資する作品となっています。

これらの作品を通じて、良好な景観形成、質の高い生活環境の構築に対する県民の皆さまの意識が高まることを期待しています。

最後に、選考委員はじめ関係者の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募者の皆さまのますますのご活躍をお祈りいたします。

総評

選考委員長 ■ 田上健一

優れた建築を表彰することにより、美しいまちづくりの促進を図ることを目的として制定された本賞は、今年で33回目を迎えました。

本賞では、「住宅の部」と「一般建築の部」の各部門で「大賞」および「優秀賞」が授与され、またリフォーム・リノベーション作品を対象として（一財）福岡県建築住宅センター「理事長賞」が授与されます。本年度は「住宅の部」33件、「一般建築の部」39件、計72件の一般公募による応募が寄せられました。選考は10名の選考委員による慎重な審議を経ています。

第1次選考委員会は9月15日に開催され、応募書類をもとに「住宅の部」の候補4作品、「一般建築の部」の候補4作品、「理事長賞」候補3作品を選出しました。また、第2次選考の現地審査は11月20日と11月23日に実施され、建築の内部・外部空間および周辺環境の視察を行うとともに、設計者・施工者・建築主等の関係者から説明を受けました。本年は新型コロナウイルス対策のため、選考委員を2つのグループに分け現地審査に対応し、第2次選考の現地審査終了後に全員による最終選考委員会にて各受賞作品を選出しています。

「住宅の部」では、戸建住宅3作品、集合住宅1作品の4作品が第1次選考を通過しました。いずれも地域社会との関係性や新しい住まい方を主題としており本賞に相応しいものでした。「大賞」を受賞した「浦志の家」は控えめな建築表現でありながら、細やかなランドスケーピングが高く評価されました。優秀賞の「楽市のアパートメント」は、厳しいローコスト条件下で低層分棟・高密度・変形路地型の集合住宅を実現しました。

「一般建築の部」では、「嘉麻市庁舎」「大楠アリーナ2020」「MARUHON FUKUOKA」「近鉄博多ビル」の4作品が第1次選考を通過しました。今年度も質の高い建築作品が残り選考は難航しました。大賞の「嘉麻市庁舎」は、矩形の彫刻的意匠と周辺自然環境との調和や、開かれた市民サービスのための空間的实践が評価されました。優秀賞の「大楠アリーナ2020」は、アリーナの開放性・閉鎖性の両義性を高レベルで実現したことが評価されました。他の2作品は僅差で及びませんでした。

「理事長賞」には、「いろどり整骨院」「福岡市美術館リニューアル」「九州ヴォイス」が最終選考に残りました。こちらも力作が揃い

目次

ご挨拶	00
総評	01
大賞	02-05
優秀賞	06-07
最終選考対象作品	08
一財：福岡県建築住宅センター理事長賞	09
最終選考対象作品	10
これまでの大賞受賞作品	11-13

大賞

住宅の部 ■ 浦志の家

設計趣旨 敷地は糸島市内に位置する二方向道路に面する角地。既存樹木を中心とした植栽帯により、外部からの視線を遮りながら、緩やかに街と繋がり、内部からは豊かな緑を感じられる庭と一体となった住まいである。建築のボリュームを抑え、低く長い軒により慎ましやかな佇まいにするとともに、全体高さを抑えることで北側隣地に建つ両親の住まいに配慮し、また相互に行き来ができる配置計画とした。木材は九州産を使用し、地産地消による地域活性化にも寄与でき、玄関ドアや一部サッシも木製とすることで、経年変化を楽しむことができる。小さいながらも性能と意匠のバランスがとれた、内外一体となる居心地の良い居場所が点在する住まいとなった。

講評 大通り沿いにはスーパーマーケットやパチンコ店が立ち並び、隣にはドラッグストア。一方で、裏通りには古くから残る住宅が点在。仮設的で一時的な賑やかさでまちが成り立っている、そういった雑然とした郊外住宅地に「浦志の家」は在ります。

住宅としてはコンパクトで控えめな建築表現ではありながら、ボリューム感の低減、研ぎ澄まされたプロポーション、屋根勾配、地域産木材を用いた外壁のほどよいおさまり、明快なプランニング、手仕事を感じられる内部仕上げなど、全体に無理のない上質な作品です。

特に、既存樹木を中心とした植栽、ひろびろとした縁側、アプローチや玄関などの半屋外空間により地域・庭・住宅の境界融和が図られています。コミュニティの存在に気づくことさえも憂えられる場所で、郊外住宅地の空隙を逆手に取る手法を試み、この細やかなランドスケイピングが高く評価されました。

実は、現地審査にて、裏手にあるご祖父母がお住まいの母屋との関係性の中でこの住宅が成り立っていることがわかりました。失われて久しい「生活のしかた」や「お隣さん」といったやわらかなつながりの醸成を知ることになり、このことが多くの審査員の共感を獲得しました。



所在地 糸島市
建築主 個人
設計者 松本設計 松本孝充
〒841-0025 佐賀県鳥栖市曾根崎町1146-11
TEL.0942-85-9280
<https://matsumotosekai.com>
施工者 松島建設 松島進二
用途 専用住宅
構造規模 木造 地上2階建て
撮影 八代写真事務所

大賞

一般建築の部 ■ 嘉麻市庁舎

設計趣旨 遠賀川の畔に建つ嘉麻市新庁舎の計画がある。

2016年4月の熊本地震直後に計画が始まり、合併特例債活用期限である2020年3月竣工が求められていた背景と、遠賀川沿いの豊かな敷地環境が計画の大きな特徴であり、これらの時代背景・地域環境に対して純粋に応答することがこの市庁舎建築の姿勢としてふさわしいと考えた。

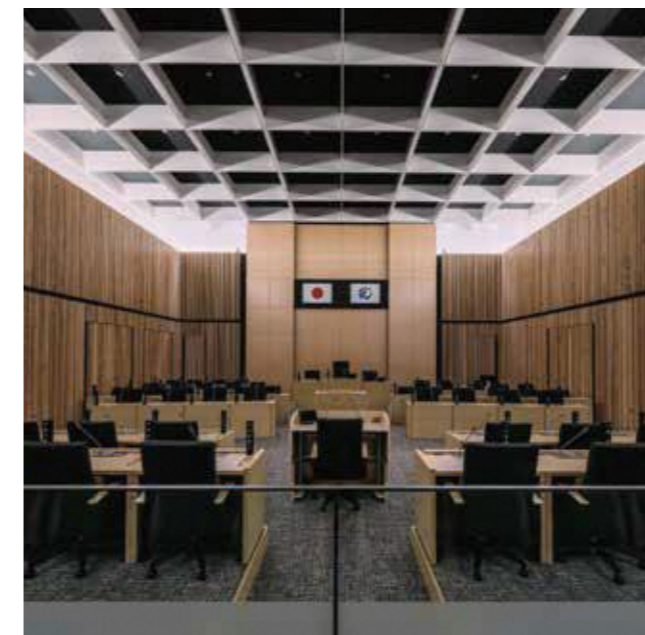
安心・安全性確保とイニシャルコスト縮減を両立した合理的なデザインを追求した結果、無駄なものが削ぎ落とされたコンクリートの「矩形」が残った。嘉麻市の原風景である遠賀川とその先に広がる水田や山並みの豊かな緑の中、このコンパクトな「矩形」の市庁舎を彫刻的に佇ませることで、嘉麻市の新たな景観の創出を目指した。

講評 合理性を突き詰めた矩形の構造体は、のどかな風景の中に佇む彫刻的モニュメントのような存在感を現しています。

四周をめぐる3.6m×3.6mのアウトフレームによる架構空間は、まるでルネサンス期に建てられた屋根がかかる吹放しの半屋外空間ロτζシアの立体積層化のようです。ロτζシアが曖昧な機能の空間でありながら、使い手や目的を定めずに数百年間も維持されてきたことにも似た強度を感じます。このような空間形式はさまざまな世代や人々が同時に存在できるという懐の深さの表現であり、内部の活動が周りに表出することも可能となります。地域の新しいシンボルとしての庁舎にふさわしい空間形式・建築言語なのかもしれません。

写真で感じた一見過剰にもみえるアウトフレームの仰々しさは現地では感じられず、むしろ周囲と馴染みながら、その姿は地域の風景と向き合っています。

敷地内外を一体的につなぐ全体計画、市民サービスと執務スペースのゆるやかな連続性、吹き抜けや垂直動線による立体構成、日射制御をはじめとする環境への配慮なども高いレベルで実現されています。内部のサインやファニチャーなども細やかに設えられました。



所在地 嘉麻市
建築主 嘉麻市長 赤間幸弘
設計者 株式会社久米設計 九州支社 支社長 高崎強
〒810-0001 福岡中央区天神1-2-12 メットライフ天神ビル
TEL.092-781-5211
<https://www.kumesekkei.co.jp/>
施工者 株式会社浅沼組 九州支店 執行役員 支店長 江崎彰夫
用途 市庁舎
構造規模 RC一部S造 地上6階建て
撮影 八代写真事務所

優秀賞

住宅の部 ■ 楽市のアパートメント

設計趣旨 地方都市に建つ10世帯の木造メゾネット型賃貸アパートである本計画は、造作によるディテールの積み上げではなく標準ディテールを多用することでコストを抑えながら、いかに空間性を与えることができるかをテーマに据えるとともに、要望でもあった外部空間を日々使われる空間とすること、及び外部空間による住環境の見直しを行った。

変形敷地に沿わせるように分散させた住戸群に外部空間を織り込みながら配置することで、外部空間は視線の方向性がほかされるように伸縮を繰り返し、路地状の空間に陰影の移ろいを映し出す。

刻々と変化する外部空間を通して入居者の生活感が住戸群の中に拡がる風景こそ、集まって住む豊かさになると考えた。

講評 市街地と農村のあいだの郊外にある「楽市のアパートメント」の周辺には、おそらくハウスメーカーや地元の在来工務店が建てたであろう、その姿はほとんど同じである低層アパートメントが散在しています。「楽市のアパートメント」は、こういった画一的なアパートメントとは対比的な、低層分棟・高密度・変形路地型の集合住宅です。

多方向からのアプローチ、住棟を分節する2~4mほどのスリット路地、不規則なテラスの配置は、それぞれの住戸の採光や通風を確保するだけでなく、クロスメゾネット形式によって複雑に絡み合う住戸の住み手相互の交流の場にもなっています。それぞれの住戸内部にも、多様な光と心地よい風の流れが感じられます。

限られた敷地の中で屋外環境との近接性・親和性を高め、住み手の小さなスケールでの生活の場所の発見や自主的なコミュニティ活動を育む提案には、まさに「まち」が感じられ、新しい郊外居住の価値が創出されることが期待できます。

厳しいコストの制限下で、既成の工業化製品を吟味し全体を構成したことも、多くの審査員から支持を集めました。



所在地 飯塚市
建築主 合同会社カーサ 代表 中村俊朗
設計者 角建築研究室 角大輔
 〒815-0033 福岡市南区大橋2-2-1 マルイビル2F
 TEL.092-231-0861
<https://www.sumi-al.jp/>
施工者 株式会社春田建設 代表取締役 春田祐太郎
用途 共同住宅
構造規模 木造 地上2階建て
撮影 Kouji Okamoto (Techni Staff)

優秀賞

一般建築の部 ■ 大楠アリーナ2020：九州産業大学

設計趣旨 九州産業大学の創立60周年を記念して計画された、スポーツ、式典、研究など様々な利用ができる約5000人を収容可能な西日本最大級のフロア面積を有する複合型アリーナである。

大学のシンボルツリーである楠の大樹をモチーフにデザインし、新たなランドマークとなることを目指した。ガラスカーテンウォールにより構成したショーケースのような建築は、内部で繰り広げられるアクティビティがあふれ出す「オープンアリーナ」である。

林立する樹木形状の柱や大階段、吹抜により、屋内外がシームレスにつながるデザインとすることで、視線がつながり、活動につながる、コミュニケーションを誘発する交流の場を創出した。日が沈み始めると象徴的な柱と内部のアクティビティが浮かび上がり、都市の夜景に華を添える。

講評 大学キャンパスのエントランス近く、幹線道路に接する都市の景観と密着した場所に位置しています。

82.5m×45mの広さで5000人を収容できる国内有数の大型アリーナでありながら、敷地段差の利用、樹木のつらなりを連想する軽やかな構造体、連続するガラスカーテンウォールによる透過性がスケールの大きさと重量感を消し去っています。

最大限に空間的・視覚的開放性を確保したオープンアリーナは、建築のランドマーク性に加えて、自然換気や居住域空調などの環境への配慮、樹木形状の柱や斜格子による屋根架構など施工技術の高さも高く評価されました。

コロナ禍のまっただ中で現地審査に訪れましたが、内部で大学生が距離を取りながらスポーツを楽しむ光景に、大学施設・都市施設としての現代的必要性和、あらためてこのような施設の空間的・視覚的開放性の重要性を感じます。いずれは市民に開放されていくというこのオープンアリーナでは、キャンパスに集う学生とともにさまざまな人々が時間を共有し、開かれた場としてさまざまなセレンディピティの発現が予想されます。



所在地 福岡市東区
建築主 学校法人中村産業学園 理事長 津上賢治
設計者 株式会社梓設計
 常務執行役員 スポーツ・エンターテイメントドメイン長 永廣正邦
 九州支社設計部 主幹 加野正知
 〒144-0042 東京都大田区羽田旭町10-11 MFIP羽田3F
 TEL.03-5735-3211
<https://www.azusasekkei.co.jp/>
施工者 株式会社竹中工務店 九州支店 執行役員支店長 弓削裕治
用途 大学(体育館)
構造規模 S造一部RC造 地上3階建て
撮影 Kouji Okamoto (Techni Staff)

最終選考対象作品

ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては福岡県庁ホームページからもご覧いただけます。

住宅の部 ■ affordance house
所在地 福津市
建築主 個人
設計者 class archi株式会社 代表取締役 新田崇博 泉竜斗
〒841-0026 佐賀県鳥栖市本鳥栖町547-1-1 F2
施工者 株式会社さわやか建設 工事課長 舎川弘善
撮影 八代写真事務所



住宅の部 ■ 山亭
所在地 福岡市南区
建築主 個人
設計者 田村の小さな設計事務所 代表 三角健晃
〒814-0175 福岡市早良区田村7-10-15
施工者 株式会社イクスワークス 取締役 内山琢也
撮影 石井紀久



一般建築の部 ■ 近鉄博多ビル(都ホテル博多)
所在地 福岡市博多区
建築主 近鉄不動産株式会社 代表取締役社長 倉橋孝壽
設計者 株式会社三菱地所設計 建築設計四部長 松井章一郎
〒100-0005
東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル
施工者 株式会社大林組
常務執行役員 九州支店長 引田守
撮影 株式会社エスエス



一般建築の部 ■ MARUHON FUKUOKA
所在地 福岡市中央区
建築主 株式会社マルホン 代表取締役社長 加藤拓
設計者 香取建築デザイン事務所 香取武則
〒157-0073
東京都世田谷区砧4-31-6 ドムス砧公園402
施工者 黒木建設株式会社 福岡支店
取締役支店長 石井道真
外観写真:ルーフフォトクリエイティブ / 水崎浩志
内観写真:goto photo office / 後藤晃人



一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長賞 選考テーマ:既存建築物のリフォーム・リノベーション

■ いろどり整骨院 / 住宅

設計趣旨 本案は、汎用的なハウスメーカー住宅を素材とした職住一体の生活環境の再構成、及び、空き家解消や設計事務所の新規市場開拓という「素材としてのハウスメーカー住宅」の可能性に対するケーススタディである。

内部では、整骨院併用住宅の従来用途の枠を超えた防災や育児セミナー、ワークショップ、マルシェ、料理教室、物販など多目的かつ半公共の用途により、外部とのシームレスな繋がりが必要とされた。一方外部には巨大な御神木と公園の唯一無二の景観があり、公園の抽象化・再構成により内外を連続させた。露出された既存構造と新規造作物を等価に扱い、ズレや重なり、流動性や回遊性等、綿密な計画により唯一無二の空間創出を目指した。

講評 リノベーションとは決して妥協の産物ではなく、創造的な建築行為であることがあらためてわかります。

鉄骨5mグリッドの大手ハウスメーカーによる新構法(新築当時)を存続させながら、隠れていたこの骨格を痕跡として顕在化し、対比的なマテリアルとディテールを持ち込むことで、双方が重なり合う見事な空間再編を実現しています。

再編された空間は、住宅の地域社会への開き方、近代以降分離され続けてきた職と住の一体化、時間経過による価値の増殖など、現代住宅が超克すべき課題解決の方向性を示しているようです。

隣接する公園の緑との連続性を意図したアプローチや開口面といった境界のデザインは、内外部に充分なみずみずしさを与えています。

地域活動にも積極的な若い世代の住まい手により、この住宅が時間の経過とともに一層の豊かさを帯びていくことが予想されます。また、細やかな工夫を重層化した若手設計者の力量も高く評価されました。



所在地 久留米市
建築主 いろどり整骨院 院長 江上雄治
設計者 ノットイコール級建築士事務所 代表 有吉弘輔
〒815-0084 福岡市南区市崎1-2-8 高宮マンション256号
TEL.092-406-4870
<https://notequal.jp>
設計者 角建築研究室 角大輔
〒815-0033 福岡市南区大橋2-2-1 マルイビル2F
TEL.092-231-0861 <https://www.sumi-al.jp/>
施工者 株式会社イクスワークス 代表取締役 舟木和彦
用途 整骨院併用住宅
構造規模 S造 地上2階建て
撮影 ©Yousuke Harigane

一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長賞
最終選考対象作品

ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては福岡県庁ホームページからもご覧いただけます。

一般建築の部 ■九州ヴォイス
所在地 太宰府市
建築主 一般社団法人福岡デザインアクション
代表理事 金子信三
設計者 株式会社仁設計 代表取締役 青木仁敬
〒810-0001
福岡市中央区天神3-10-30
オフィスニューガイア天神2F
施工者 大工家 棟梁 鶴田亮
撮影 ©Yousuke Harigane



一般建築の部 ■福岡市美術館リニューアル
所在地 福岡市中央区
建築主 福岡市長 高島宗一郎
設計者 株式会社梓設計
フェロー・シニアアーキテクト 永池雅人
九州支社 副主幹 馬場明
九州支社 主幹 葉村幹樹
〒144-0042
東京都大田区羽田旭町10-11 MFIP羽田3F
施工者 株式会社大林組
常務執行役員 九州支店長 引田守
撮影 株式会社エスエス



一般財団法人福岡県建築住宅センター

建築住宅センターの住まいづくりサポート

- 住宅相談
専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談
- 住まいづくり教室
一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催
- 住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度
耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣
- 生涯あんしん住宅
在宅ケア・省エネ・耐震等対応モデル住宅の展示
- インスペクション「住まいの健康診断」
住まいの専門家による既存住宅状況調査の実施

●お問い合わせ先
TEL 092 781 5169
www.fkjc.or.jp/

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、
福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています。

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として昭和53年に設立されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応じてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通じて消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通じて、的確な住情報の提供を行っています。また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性(定期報告)に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査、構造計算適合性判定業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞
[建築住宅文化賞] 大賞受賞作品

1回-12回

第1回福岡県建築住宅文化賞
昭和63年度
北九州市立美術館



1

第2回福岡県建築住宅文化賞
平成元年度
石橋別邸第一水明荘
福岡医院
花園幼稚園
ピレツジ番月



2



3



4

第3回福岡県建築住宅文化賞
平成2年度
松口邸
的野歯科医院
立花山の家
グリーンピア八女



5



6



7



8

第4回福岡県建築住宅文化賞
平成3年度
進藤邸
不知火病院「海の病棟」
山田市立山田小学校
福岡ウォーターフロント
プロムナード「マリゾン」



9



10



11



12

第5回福岡県建築住宅文化賞
平成4年度
苅田町立図書館
明治学園高等学校体育館
カルタックスおおむた



13



14



15



16

第6回福岡県建築住宅文化賞
平成5年度
田川文化エリア
福岡県青少年科学館
佐田邸(4世代の家)



17



18



19



20

第7回福岡県建築住宅文化賞
平成6年度
茶の文化館
二丈町の家
山笠の家(橋本邸)
西大谷第2団地(市営住宅)



21



22



23



24

第8回福岡県建築住宅文化賞
平成7年度
縄田邸
上陽町立尾久保小学校



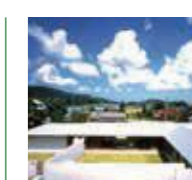
25



26



27



28

第9回福岡県建築住宅文化賞
平成8年度
確井琴平文化館
新宮湊坂



29



30



31

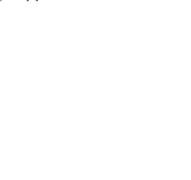


32

第10回福岡県建築住宅文化賞
平成9年度
鞍手の家
太宰府長浦台の家



33



34



35

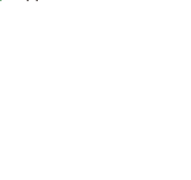


36

第11回福岡県建築住宅文化賞
平成10年度
瀬高町立図書館・歴史資料館
山村留学ふれあい館(筑穂学舎)



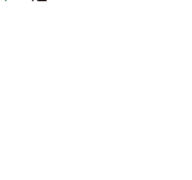
37



38



39



40

第12回福岡県建築住宅文化賞
平成11年度
山田市立下山田小学校

41

42

43

44

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞
[美しいまちづくり賞、美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品

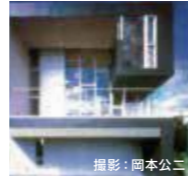
13回 - 27回

第13回福岡県美しいまちづくり賞
平成12年度
めくばーる三輪
青葉台ほんえるふ



13

第14回福岡県美しいまちづくり賞
平成13年度
大野城の住宅
ひふ科いのクリニック
八女市多世代交流館「共生の森」



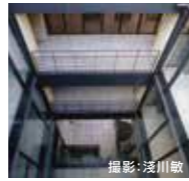
14

第15回福岡県美しいまちづくり賞
平成14年度
City Cube
篠栗幼稚園



15

第16回福岡県美しいまちづくり賞
平成15年度
SHIMA STYLE
渡辺クリニック姪浜
247



17

第17回福岡県美しいまちづくり賞
平成16年度
カルシア小戸ナチュア



18

第18回福岡県美しいまちづくり賞
平成17年度
昭和初期和風住宅の移築プロジェクト
西南学院中学校・高等学校
伊田堅抗櫓二本煙突(景観賞)



19

第19回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成18年度
TERZETTO(テルツェット)
中村製紙所新社屋



20

21

22

第20回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成19年度
須崎の長屋

第21回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成20年度
東神原の家
アクア博多



23

24

第22回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成21年度
ベットと暮らす家[K邸減築工事]
天神MENTビル



25

26

第23回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成22年度
豊前の家
下川歯科医院



27

第24回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成23年度
むさしヶ丘の住宅
築上町火葬場

第25回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成24年度
四季の家
料亭 嵯峨野



第26回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成25年度
Obi house
筑紫保育園 分園

第27回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成26年度
大池の住宅
椎木講堂



27

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞
[美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品

28回 - 32回

第28回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成27年度
松原の家
BOATHOUSE OHORI PARK



28



撮影: Kouji Okamoto



撮影: 大野博之



撮影: 株式会社エスエス

第29回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成28年度
太宰府の家
SHIP'S GARDEN



30



撮影: 針金洋介



撮影: 坂口写真事務所
坂口正臣



撮影: 木田拓実

第30回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成29年度
糸島の家[MPラボ]
西南学院大学図書館



32



撮影: OMORI KYOKO

第31回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成30年度
小屋の間
すばる保育園

第32回福岡県美しいまちづくり建築賞
令和元年度
平和の家
福岡県弁護士会館



32



撮影: 鈴木研一

20

33rd.

表彰の趣旨

今回で33回を迎える福岡県美しいまちづくり建築賞は福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与するものです。

応募部門

●住宅の部

- ・一戸建ての専用住宅。

ただし、併用住宅で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

- ・長屋建住宅及び共同住宅等の集合住宅、街区を形成する住宅群。

ただし、複合用途で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

●一般建築の部

- ・原則として住宅の部以外の建築物を対象とします。

※概ね10年前以降に竣工[増改築・修繕等含む]したものであれば、過去に応募したものでも再度の応募は可能です。

[福岡県美しいまちづくり建築賞で受賞したものは除きます]

選考委員会

50音順 敬称略 ◎委員長 ○副委員長

池田美奈子 / 九州大学大学院芸術工学研究院准教授

岩田直仁 / 西日本新聞社論説委員

大森今日子 / 写真家

岡田知子 / 西日本工業大学デザイン学部建築学科教授 ○

菊竹清文 / 情報彫刻家

黒瀬武史 / 九州大学大学院人間環境学研究院准教授

末廣宣子 / 有限会社エヌ・ケイ・エス・アーキテクツ取締役

田上健一 / 九州大学大学院芸術工学研究院教授 ◎

永山慎治 / 福岡県建築都市部次長

松本悟 / 一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長

主催 / 福岡県

協賛 / 一財：福岡県建築住宅センター

後援 / 独法：住宅金融支援機構九州支店

独法：都市再生機構九州支社

福岡県住宅供給公社

公社：福岡県建築士会

一社：福岡県建築士事務所協会

一社：福岡県建設業協会

公社：福岡県宅地建物取引業協会

一社：九州住宅産業協会

公社：日本建築家協会九州支部

一社：日本建築学会九州支部

公社：日本都市計画学会九州支部

特非：日本都市計画家協会福岡支部

福岡県ゆとりある住まいづくり協議会